

令和3年度
東松島市生活支援体制整備事業
各協議体取り組み状況について

地域包括ケア推進会議

地域支え合い推進委員会の他在宅医療・介護連携協議会、認知症ケア連携会議等の協議状況を共有し、東松島市の医療福祉サービスの評価や政策形成に関する提案を実施。（市主管会議）

第1層（市全域）

東松島市地域支え合い推進委員会
（第1層協議体）

令和3年6月に新規委員委嘱、委員長に東北文化学園大学野崎瑞樹氏、副委員長に東松島市民生委員児童委員協議会齋藤あや子氏が就任。生活支援体制整備事業と協議体をテーマに、宮城県地域支え合いアドバイザー派遣を利用し、研修会を開催した。また、地域活動の啓発に向けてワーキンググループを設置し、支え合いの啓発について協議した。

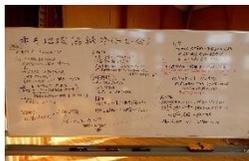


第2層（まちづくり協議会圏域）

赤井はひとつおせっ会（第2層協議体）

地域活動の情報交換会の他、メンバーと保健福祉部会の情報交換会や、まちづくり協議会と連携し、地域支え合い活動の紹介する事例集を作成し住民へ啓発した。

開催頻度
1～2ヶ月に1回程度



大曲安心づくり事業部（第2層協議体）

各自治会の支え合い活動に関する情報共有の他、フードドライブの取り組み状況について情報共有。また、高齢者の実態を把握するためのアンケート調査を検討しており、調査に関する研修などを実施した。

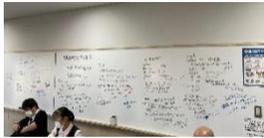
開催頻度 毎月



矢本西地域協議体（第2層協議体）

今年度設置、民生委員、サロン世話人等、地域で支え合い活動を実践している方々が参加し、地域で実践している活動や考えについて情報共有した。

開催頻度
3ヶ月に1回程度



宮戸地域（第2層協議体）

既存の地域会議体での協議を、現在まちづくり協議会と相談中。

矢本東地域協議体（第2層協議体）

今年度設置、自治会長や民生委員、サロン世話人等、地域で支え合い活動を実践している方々が参加し地域活動について情報共有した。

開催頻度
3ヶ月に1回程度



大塩地域協議体（第2層協議体）

自治会役員やサロン活動運営者、民生委員等と地域活動について情報交換をおこなった他、今年度大塩地域で市内事業所のHarappaと連携し、移動販売を実施。移動販売の状況等について共有した。

開催頻度
3ヶ月に1回程度



野蒜地域協議体（第2層協議体）

自治会長や地域福祉活動実践者で活動の情報共有を実施。また、他地域協議体との交流会を実施。

開催頻度
年3回程度



小野地域協議体（第2層協議体）

メンバー選定を行い今年度中に設置予定。エリアでは、高校の生徒と地域の通いの場を調整し、高齢者の社会参加のきっかけづくりを実施。



第3層（自治会圏域）

地域支え合い会議（第3層）令和3年度については、第2層よりもより、もっと身近な圏域で地域生活課題を共有する場として、各エリアの地域包括支援センターと連携しながら、地域課題の共有、地域での資源作りを目的に、自治会単位での地域支え合い会議を開催。今年度新たに12カ所の自治会圏域で開催が始まり、現在22自治会で定期的に開催。

